

海の人材育成に関する国際シンポジウム

2016年7月19日～20日 | 日本・東京

セッション1：海洋生物資源管理

Photo credit: Nick Hall

パナボ市プライド・キャンペーン

フィリピン、ミンダナオ島ダバオ湾、パナボ市

1) 当プロジェクトの主眼点

プライド・キャンペーンとは、保全と持続可能な漁業管理に向けて、海洋保護区（MPA）の管理やコミュニティにおける漁業慣行の改善を含めた行動の変容を働きかけるものである。パナボ市プライド・キャンペーンの目標は、カガンゴハン・フィッシュサンクチュアリを含む海洋資源をより適切に管理するため、地元の漁業者に働きかけて現在の活動の変容を促すことである。

ダバオ湾の一角を占めるパナボ市は、スルー・スラウェシ海洋生態域における海洋生物多様性保全のための重点地域の1つであり、フィリピンの主要な漁場にも数えられている。

2) 参加組織およびその他のパートナー

主導的な組織は、50カ国を超す国々で保全フェローを育成し、キャンペーンを実施しているレア（Rare）という保全活動組織である。フィリピンでは、レアは地元の自治体や機関と協力して近海漁業の管理に力を注いでいる。レアがグローバルに展開するフィッシュ・フォーエバーというプログラムは、現在、フィリピンの沿岸部にある20の自治体で実施されている。パナボ市は、国内に13カ所ある、レアが持続可能な漁業のためにプライド・キャンペーンを展開している場所の1つである。

レアは、ダバオ・デル・ノルテ州立大学（DNSC）と協力して、パナボ市プライド・キャンペーンを実施している。DNSCは、パナボ市の地元自治体部門やさまざまなバラングイ議会を含む

プロジェクトチームを創設した。このチームを率いるのは DNSC の保全フェロー、ガーリー・グマナオ (Girley Gumanao) 博士であり、DNSC の学長ジョナサン・バヨガン (Jonathan Bayogan) 博士とパナボ市の地元自治体部門の農学者であるアレハンドロ・マヤト (Alejandro Mayato) がスーパーバイザーを務めている。

3) 能力開発において効果が証明された活動やツール

ガーリー・グマナオ博士は、レアの保全フェローの 1 人として、コミュニケーションとプライド・キャンペーンの実施に関する 2 年間の研修コースを受講した。その後、博士はパナボにおいて、コミュニティの指導者や若者、学生、法執行官、ならびにその他の利害関係者からなるグループの研修と結集に取り組んだ。

海洋生物学者として教授の職にあるグマナオ博士は、パナボ市では技術専門家としても、敬愛されるコミュニティの指導者としても知られている。しかし、海洋資源の減少を逆転させるために博士が必要としたのは、科学と政策の専門知識だけではなかった。さらに重要なこととして、コミュニティを巻き込み、その行動を資源志向に変える必要もあった。レアの下で博士が受けた研修は、以下に挙げる 2 つの重要な成果に結び付いた。

- i. グマナオ博士は、技術的な専門知識を補完するものとして、ソーシャルマーケティングを用いて行動変容キャンペーンを進める能力を備えており、その結果、より優れた漁業管理に関するコミュニティの知識と理解が向上した。これにより、パナボ市のプライド・キャンペーンは漁業者の自覚を高め、ひいては、漁業者がパナボ市における持続可能な漁業の土台となるフィッシュ・サンクチュアリの規則や規定を以前より順守するようになった。
- ii. さらに、グマナオ博士が自ら学んだことを広範囲にわたる地元の利害関係者に教えたことで、コミュニティは博士の研修の恩恵も受けた。このキャンペーンにおいて、沿岸部の学者コミュニティのあいだで能力の向上と支持者の結束の強化が果たされたことは明らかである。

4) 特に、継続的に能力開発に取り組むことおよび／または同様のプロジェクトを他の地域で展開することに関連して経験した困難な課題

強い意欲と影響力を備えているグマナオ博士だったが、一部の支持者にキャンペーンによる介

入の長期的な価値を納得してもらうことと、こうしたプログラムを当初の重点地区の外側で展開することにおいて困難に直面した。

5) このプロジェクトの次の段階

もともと水産学校だった DNSC は、そこから完全に進化して、現在は著名な保全機関と協力して多くのコースやプログラムを提供する大学になっている。いまでも漁業関係のプログラムを重視しているものの、今後はグマナオ博士がレアの研修で自ら学んだ教訓を直接生かして、漁業管理に対する行動変容アプローチを取り入れていく。

DNSC とレアは、現在、これまでとは別の学習および／または学校教育の方法を用いて地元の保全指導者を育成し、支援するような特別漁業プログラム（海洋保全と漁業管理）の開発に取り組んでいる。

<http://www.rare.org/>

<http://dnsc.edu.ph/>

